

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立湯里小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【目標 安全・安心な教育の推進】**

本校では、「湯里小学校いじめ防止基本方針」に基づき、学級担任中心として校内委員会や職員会議において共通理解を図りながら、学校全体で組織的に取り組んできた。その結果、暴力行為の未然防止や、新たな不登校児童の発生の抑制など、一定の成果が見られている。自尊感情の育成を重視した日々の指導の積み重ねにより、児童が自分の良さに気づき、自信をもって行動しようとする姿も見られるようになってきた。

一方で、少子化の進行や学校選択制の影響に加え、中国からの編入児童の増加など、本校を取り巻く環境は変化しており、多様な背景をもつ児童が共に学ぶ環境が広がっている。このような状況においては、一人一人の特性や文化的背景を踏まえた丁寧な児童理解と支援を基盤とし、多文化共生の視点を取り入れた人間関係づくりを一層推進していく必要がある。

また、スマートフォンやインターネット、SNS、ゲーム等の利用が日常化する中で、児童の情報モラルの育成とともに、ICT機器を安全かつ有効に活用する力の育成が重要な課題となっている。しかし、家庭における利用ルールの定着は十分とは言えず、学校と家庭が連携した取組の強化が求められる。

さらに、防災・減災教育については、地域と連携した実践を積み重ねてきた。引き続き、実施方法の工夫と連携の再構築を図りながら、児童が主体的に命を守る力を確実に身に付けられるようにする必要がある。

加えて、校内の情報共有についてはこれまで丁寧に行ってきたが、学年会の機能の明確化や年度間の引継ぎの質の向上を図り、切れ目のない支援体制を確立することが今後の課題である。

【目標 未来を切り拓く学力・体力の向上】

全国学力・学習状況調査や経年調査の結果から、本校児童は自分の考えをまとめ、表現する力、特に思考・判断・表現に関わる力に課題が見られた。このため、これまでユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に取り組んできた結果、「授業がわかりやすい」と感じる児童の割合は向上するなど、一定の成果が見られている。

しかしながら、個々の学力の定着にはばらつきがあり、基礎・基本の確実な習得とともに、自分の考えを深め、他者に伝える力のさらなる育成が求められる。

今後は、これまで取り組んできた国語科を中心とした「書く力」の育成を柱に据えながら、話し合い活動等を通して考えを深めたり広げたりする学習を充実させる必要がある。また、国際理解教育と関連付けることで、多様な価値観に触れ、自らの考えを形成し発信する力を育成していくことが重要である。

さらに、小規模の特性を生かし、一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導を一層充実させるとともに、学習意欲の向上や主体的に学び続ける態度の育成を図っていく必要がある。加えて、運動やスポーツへの関心を高め、体力の向上とともに健やかな心身の育成を推進することも求められる。

【目標 学びを支える教育環境の充実】

ICT 環境については、これまで一人一台端末の整備を進め、授業での活用を推進してきたが、システム変更等の影響により安定的な運用が難しい時期もあり、活用の頻度や質にばらつきが見られる状況である。そのため、教育 DX の視点から、安定的かつ効果的な運用体制を再構築し、日常的な活用の定着を図ることが課題である。

また、家庭環境による学習機会の差を踏まえ、ICT を活用しながら、すべての児童に対して学びを保障する環境整備が求められている。

一方で、教職員の長時間勤務の常態化や、「自主研修の日」等の取組の形骸化といった課題も見られる。持続可能な教育活動を実現するためには、校務の効率化や業務改善を進め、働き方改革を推進することにより、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質の向上につなげていく必要がある。

さらに、読書活動については一定の取組が進んでいるものの、児童の読書に対する意識の向上と習慣化に向けた継続的な働きかけが求められる。

【目標 その他】

すべての児童が安心して充実した学校生活を送るためには、人権尊重を基盤とした教育のさらなる充実が不可欠である。これまでも体験的な活動やたてわり班活動を通して児童同士の関係づくりを進めてきたが、今後は多文化共生の視点をより一層取り入れ、異なる文化や価値観を尊重する態度の育成を一層推進する必要がある。

また、大阪・関西万博を契機として取り組んできたケニアとの交流は、本校の教育活動に新たな価値をもたらしており、児童の視野を広げる有効な学びとなっている。今後はこれらの取組を学校のレガシーとして位置付け、継続・発展させていくことが重要である。

さらに、創立 50 周年という節目を迎えるにあたり、これまでの実践を基盤としながら、児童一人一人が達成感や自己有用感を実感できる教育活動を充実させるとともに、地域・保護者と連携した開かれた学校づくりを一層推進していく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

多様な背景をもつ児童が共に学ぶ本校においては、すべての子どもが安心して学校生活を送り、自分らしさを発揮できる環境づくりを基盤とする。いじめの未然防止・早期対応に加え、自尊感情の育成と多文化共生の視点を取り入れた人間関係づくりを推進するとともに、防災・減災教育の充実を図り、主体的に命を守る力を育成する。

(4 年間の到達目標)

- 校内調査などにおいて、「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を各年度 90%以上を目指し、維持する。
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」とする意識について、90%以上の高い水準を維持・向上させる。
- 不登校児童については、個々の状況に応じた支援体制の充実を図り、毎年度において改善が見られる児童数の増加と新規発生の抑制を継続的に実現する。
- 児童の情報モラルの育成とともに、ICT 機器を安全かつ有効に活用する力の育成を図るために、家庭と連携し、スマートフォンやインターネット、SNS、ゲーム等の利用に関するルールの定着を推進する。その指標として、学校調査における当該項目の肯定的回答の

割合を、令和 8 年から 11 年の期間に、初年度 50%から最終年度 60%以上を目指したい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

当面、これまでの 3 年間取り組んできた、国語科を中心とした「書く力」の育成を柱に、思考力・判断力・表現力の向上を図るとともに、国際理解教育と関連付けながら、主体的に学び続ける力を育成する。また、少人数の強みを生かしたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着を図る。

(4 年間の到達目標)

- 小学校学力経年調査における国語・算数の平均正答率の対市比について、同一母集団で国語においては毎年度 0.5 ポイント以上向上させ、4 年間で 2.0 ポイント程度、算数においては毎年度 1.0 ポイント以上向上させ、4 年間で 4.0 ポイント程度の向上を確立する。
- 「話し合い活動を通して考えを深めたり広げたりできる」と最も肯定的に回答する児童の割合を、40%以上を維持しつつ、最終年度 60%以上を目指す。
- 「外国語（英語）の学習が好き」と肯定的に回答する児童の割合を、各年度 85%以上を維持し、学習意欲の安定的な定着を図る。
- 「運動やスポーツが好き」と最も肯定的に回答する児童の割合を、各年度 80%以上を維持し、可能な限り向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

教育 DX の推進と働き方改革を両輪とし、子ども一人ひとりの学びを支える環境の整備を進めるとともに、教職員が持続可能に教育活動に取り組める体制を構築する。

(4 年間の到達目標)

- 学習者用端末の活用について、「週 3 回以上使用」と回答する児童の割合を各年度 70%以上とし、最終年度には 75%を目指し活用の質の向上を図る。
- 教職員の勤務時間について、最終年度には月平均時間外勤務 20 時間以下を維持・定着することを目指す。
- 「自主研修の日」および「研究の日」をそれぞれ年間 8 日程度設定・実施し、教職員の資質向上と働き方改革の両立を図る。
- 小学校学校経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を最終年度 75%以上を目指す。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和7年度79.2%)
- 年度末の校内調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
(令和4年度97.8% 令和5年度97.4% 令和6年度96.4% 令和7年度91.0%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の人数を前年度より減少させる。
(前年度3% 4人)
- パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.0ポイント向上させる。
(R7 3年国語68.6(市70.8) 算数64.2(市69.5) 4年国語61.1(市69.0) 算数61.5(市67.5) 5年国語70.7(市70.8) 算数54.9(市63.8) 6年国語62.4(市67.7) 算数57.2(市70.7))
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
(令和4年度37.3% 令和5年度40.0% 令和6年度41.1% 令和7年度68.7%)
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和4年度73.6% 令和5年度74.4% 令和6年度79.5% 令和7年度80.0%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
(令和4年度74.2% 令和5年度74.8% 令和6年度67.9% 令和7年度86.0%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。(令和7年度 64.3%)

- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。
(昨年度平均 25 時間)

- ゆとりの日を発展させ「自主研修の日」を8日、「研究の日」を8日設定・実施する。
(令和7年度 自主研修の日8日、研究の日8日実施)

- 小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
(令和7年度の上記回答 70.4%)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立湯里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (令和7年度79.2%)</p> <p>○年度末の校内調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。 (令和4年度97.8% 令和5年度97.4% 令和6年度96.4% 令和7年度91%)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の人数を前年度より減少させる。 (前年度3% 4人)</p> <p>○パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 学校生活が楽しいと思える学級づくり、授業実践を行う。	
指標 学級経営や授業実践について交流する場を年3回設定する。	
取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめの問題性について、ユニバーサル・デザインの視点から、児童が理解しやすい工夫をし、学級や全体での指導を実践していく。	
指標 「湯里小学校 学校安心ルール」に書かれている内容を、学級などで学期に1回以上指導を行う。	
取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】 児童の特性や生活背景をつかみ、学級での児童の様子や実態について、教職員間で共通理解をはかり、拡大生活指導部会等で対策を考える。	
指標 職員会議や校内委員会、拡大生活指導部会等で、児童の様子や実態について、年12回以上話し合いを行う。	

取組内容④【1 安全・安心な教育環境の実現】

児童のパソコンや携帯電話・スマートフォン等の利用実態を把握するとともに、情報モラル教育の充実と保護者への啓発を通して、家庭と連携した適切な利用ルール作りを推進する。

指標

職員会議や校内委員会、生活指導部会で、パソコンや携帯電話・スマートフォン等の利用に関する児童の実態調査や指導について3回以上共有・協議する。

年度末調査において、「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

【年度目標】について

【取組内容】について

次年度への改善点

大阪市立湯里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1.0 ポイント向上させる。 (R7 3年国語 68.6 (市 70.8) 算数 64.2 (市 69.5) 4年国語 61.1 (市 69.0) 算数 61.5 (市 67.5) 5年国語 70.7 (市 70.8) 算数 54.9 (市 63.8) 6年国語 62.4 (市 67.7) 算数 57.2 (市 70.7))</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。 (令和4年度 37.3% 令和5年度 40.0% 令和6年度 41.1% 令和7年度 68.7%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和4年度 73.6% 令和5年度 74.4% 令和6年度 74% 令和7年度 80%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 (令和4年度 74.2% 令和5年度 74.8% 令和6年度 67.9% 令和7年度 86.0%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>アセスメント(レディネステストや学力調査結果等のエビデンス・診断結果・教員による特性や発達段階の見取り)をもとに、インクルーシブ教育や通級指導を行う。また、国語科では書く活動に力を入れ、個に応じた学力保障を進める。</p> <p>指標</p> <p>教員の指導力向上をねらいとした研修を年3回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で、学級の友だちとの間で自分の考えを表現できるようにする。</p>	

大阪市立湯里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査などにおける「授業で学習者端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。 (令和7年度 64.3%)</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。 (昨年度平均 25 時間)</p> <p>○ゆとりの日を発展させ「自主研修の日」を8日、「研究の日」を8日設定・実施する。 (令和7年度 自主研修の日8日、研究の日8日実施)</p> <p>○小学校学校経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 (令和7年度の上記回答 70.4%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>1人1台端末の環境をいかし、デジタルドリルや協働学習支援ツールの活用を進める。</p>	
<p>指標</p> <p>週3回以上学習者用端末の活用促進を図る。</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の働き方改革を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>「自主研修の日」「研究の日」を計画通り設定・実施する。</p>	
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>読書タイムや読書貯金カードなどに取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>読み聞かせに週1回以上、本の紹介に学期に1回以上取り組む。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

【取組内容】について

次年度への改善点